

米子市県地区 石州府自主防災会

～防災士がいるまち、安心がある暮らし～



自主防災会紹介（令和8年1月現在）

■自治会加入世帯:32世帯

■自治会自主防災会女性役員数:3人/8人中(約38%)

活動概要

防災士の資格を持つ自主防災会長を中心に、地域全体で防災に取り組んでいる。

活動はまち歩きから始め、危険箇所や避難経路を確認しながら防災マップを作成。子ども会や保護者も参加し、身近なお菓子を使った非常食体験や、AED、消火器訓練等を実施している。その他、防災すごろくやTシャツで担架づくりを行うなど様々な取り組みを行っている。

今年1月の地震では、自治会のグループ LINE を活用した安否確認や、ささえあいマップが実際に役立ち、日頃の備えの大切さを実感した。

女性参画で活性化したこと、よかったことなど

女性が増えたことで、話し合いの場でも女性から意見が出やすくなり、話し合いが活性化。

また、避難所運営においては、着替えやトイレ、生理用品の仕分けなど、身体的な状況や経験に基づいた配慮が必要となる場面も多く、さまざまな立場からの視点が重要となる。

活動で工夫している点等

かわら版を全戸配布し、補助金で購入した防災備品を住民に知らせ、使い道の透明性を高めることで、防災を自分ごととして考える意識や安心感につなげている。

また、様々な行事に子ども会を巻き込むことで保護者の参加にもつながり、結果として幅広い世代の交流につながっている。

女性役員を増やすには

参加する人それぞれの視点を大切に、意見を交わせる雰囲気づくりを大切にしている。

まずはそれぞれの経験が活かせる役割から参加を促したい。

声をかける際は、その人の仕事や家庭など周辺環境を理解した上で無理のない形を伝え、これからの地域をつくる仲間として、ゆるやかに輪を広げている。